

専門基礎分野	科目名:解剖生理学 I (人体の構造・生命維持機能)	講師:医師	1 単位 30 時間 (1 年次前期)
学習目標	1. 身体の構造と機能を細胞レベルで学び、その成長段階と人体の生命維持機能および生殖機能を理解する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	身体の構造と成長発達	1. 身体の構造と成長発達 1) 身体の基本単位 2) 物流機構 3) 防御機構 4) 調節機構	講義
2	細胞と組織	2. 細胞と組織 1) 細胞の構造 2) 遺伝情報 3) エネルギー代謝	
3			
4	血液の成分と機能	3. 血液の成分と機能 1) 血液の働き (1) 血液の組成と機能(2) 赤血球(3) 白血球(4) 血小板 (5) 血漿タンパク 2) 止血機構(血液の凝固機能) 3) 血液型	
5			
6	間質液・リンパ・体液・電解質	4. 間質液・リンパ・体液・電解質 1) 間質液とリンパの機能 2) 細胞外液の調節	
7			
8	皮膚と粘膜	5. 皮膚と粘膜 1) 皮膚の構造と機能 2) 皮膚の付属器(毛・爪・皮膚腺) 3) 人体内部の膜(漿膜・粘膜)	
9	生体の防御機構	6. 生体の防御機構 1) 非特異的防御機構 2) 特異的防御機構(免疫系)	
10	生命の維持	7. 生命の維持 1) 体液と電解質の機能 2) ホメオスタシス 3) 体温とその調節(体熱の産生・放散)	
11			
12	生殖器の解剖・生理と生体の発生	8. 生殖器の解剖・生理と生体の発生 1) 生殖細胞形成 2) 受精と胎児の発生 3) 生殖器系 (1) 生殖器の発達 (2) 男性生殖器と男性ホルモン (3) 女性生殖器 卵巣 卵管、子宮、膣 外陰会陰 (4) 性周期と妊娠の過程 受精と妊娠 4) 胎盤と臍帯 5) 外形の発生	
13			
14	人間の死	9. 人間の死 1) 死の三徴候 2) 脳死 3) 死後硬直	
15	終講試験	筆記試験	
履修上の留意点	事前にテキストを読み、わからないことは調べるなど能動的に講義に臨むこと 1. 配布資料は全て持参 2. 学習形態はその都度指示		
1) テキスト 2) 参考文献	1) 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学 医学書院 1) 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[2]病態生理学 医学書院		
評価方法	1. 筆記試験		

専門基礎分野	科目名:解剖生理学Ⅱ (骨筋・循環器・呼吸器系)	講師:医師 医師 医師	1単位 30時間 (1年次前期)
学習目標	骨筋系、循環器系、呼吸器系の解剖・生理について学び、正常な人体および疾病をもった場合の変化と結びつけて理解する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 骨・筋系の解剖	1) 骨格 形態と構造・組織と組成・発生と成長	講義
2		2) 骨の連結 関節の構造・形状と可動性	
3	2. 骨・筋系の生理	3) 骨格筋 構造・作用	
4		4) 神経支配	
5	3. 循環器系の解剖	1) 筋の特性 骨格筋収縮のメカニズム	
6		2) 運動と身体の変化 上肢・下肢・頭部の骨格と筋、運動、	
7		3) 死後硬直	
8	4. 循環器系の生理	4) 胎児の血液循環	
9		1) 循環器とは 2) 心臓 構造・しくみ・弁、心臓壁の働き	
10	5. 呼吸器系の解剖	3) 血管の構造と種類 構造、肺循環の血管、体循環の動脈と静脈	
11		4) 胎児の血液循環	
12	6. 呼吸器系の生理	1) 心臓の拍動	
13		2) 血圧 血液の循環、調節、循環器系の病態生理、 リンパ管の構造	
14		1) 呼吸器系とは 2) 上気道 鼻、咽頭、喉頭	
15	終講試験	筆記試験	
履修上の留意点	<p>事前にテキストを読み、能動的に学習に臨むこと。</p> <p>1. 常にテキストは持参すること。</p> <p>2. 配布資料は全て持参 3. 学習形態はその都度指示</p>		
1)テキスト 2)参考書	1) 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院		
評価方法	1. 筆記試験		

専門基礎分野	科目名:解剖生理学Ⅲ (消化器、腎泌尿器、内分泌系)	講師:医師 医師 医師	1単位 30 時間 (1 年次前期)
学習目標	消化器系、腎泌尿器系、生殖器系、内分泌系の解剖・生理について学び、正常な人体および疾患理解の基礎とする。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 消化器系の解剖	1) 消化器とは 2) 口腔内の構造 3) 咽頭と食道 4) 腹部消化管の構造	講義
2		5) 肝臓 6) 胆嚢 7) 膵臓 8) 腹膜と腸管膜 9) 後腹膜器官	
3	2. 消化器系の生理	1) 栄養摂取の機構 三大栄養素の消化と吸収	
4		2) 咀嚼の過程 3) 嚥下の過程	
5		4) 消化と吸収 5) 排便のしくみ	
6	3. 腎泌尿器系の解剖	1) 泌尿器系とは 2) 腎臓 構造と機能 糸球体・尿細管の構造と機能 傍糸球体装置の構造と機能、糸球体濾過・再吸収 腎臓から分泌される生理活性物質、抗利尿ホルモン作用	
7		3) 排尿路 尿管・膀胱・尿道の構造と機能	
8	4. 腎泌尿器系の生理	1) 尿生成のメカニズム 2) 尿の貯蔵と排尿	
9		3) 体液の調節 水分出納、脱水、電解質平衡、酸塩基平衡	
10	5. 内分泌系の解剖	1) 内分泌腺とは 内分泌による調整 ホルモンの化学構造と作用機序	
11		2) 全身の内分泌腺と内分泌細胞 視床下部と下垂体系 甲状腺と副甲状腺、膵臓、副腎、性腺	
12		3) ホルモン分泌の調節 ー① 神経性調節 物質の血中濃度による自己調節 促進・抑制ホルモンによる調節 正・負のフィードバック	
13		3) ホルモン分泌の調節 ー② 糖代謝の調節、カルシウム代謝の調節 乳房の発達と乳汁分泌、高血圧、ストレス	
14		4) 自律神経による調節 自律神経の機能と構造 自律神経の神経伝達物質と受容体	
15	終講試験	筆記試験	
履修上の留意点	事前にテキストを読み、能動的に学習に臨むこと。 1. 配布資料は全て持参 2. 学習形態はその都度指示		
1)テキスト 2)参考書	1)系統看護学講座専門基礎分野人体の構造と機能[1]解剖生理学 医学書院		
評価方法	1. 筆記試験		

専門基礎分野	科目名:解剖生理学Ⅳ (脳神経・感覚器系)	講師:医師 医師 医師 医師 医師 医師 医師	1単位 30 時間 (1 年次前期)
学習目標	脳神経系、感覚器の解剖・生理について学び、正常な人体および疾患理解の基礎とする。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 神経系の解剖生理 ①神経系 ②神経系の構造	1) 神経系とは 構造と機能 神経細胞と支持細胞・ニューロンでの興奮伝達 シナプスでの興奮の伝導	講義
2	③中枢神経	1) 中枢神経系の構造・機能 2) 中枢神経系の障害	
3	④末梢神経	3) 末梢神経系の機能・構造 4) 末梢神経系の生理	
4	2. 脊髄・脳の解剖生理	1) 脊髄の構造と機能 2) 脳の構造と機能	
5			
6	3. 脊髄神経と脳神経	1) 脊髄神経の構造と機能 2) 脳神経の構造と機能 3) 運動機能と下行伝導路 4) 体性感覚と上行伝導路	
7			
8	4. 感覚機能	1) 感覚の種類と性質  1) 痛みの分類 2) 疼痛の発生機序	
9			
10			
11			
12	7. 耳の解剖・生理	1) 耳の構造 2) 聴覚 3) 平衡覚	
13	8. 眼の構造と視覚	1) 眼球の構造 2) 眼球付属器 3) 視覚	
14	9. 味覚と嗅覚	1) 味覚器と味覚 2) 嗅覚器と嗅覚	
15	終講試験	筆記試験	
履修上の留意点	事前にテキストを読み、能動的に学習に臨み。 1. テキストは常に持参すること。 2. 配付資料はすべて持参 3. 学習形態はその都度指示		
1)テキスト 2)参考書	1) 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院		
評価方法	1. 筆記試験		

専門基礎分野	科目名:疾病と治療 (総論)	講師:医師 医師 臨床検査技師 医師 放射線技師 理学療法士	1単位 30時間 (1年次前後期)
学習目標	1. 健康から疾病に至る変化の過程を日常生活との関連で理解する。 2. さまざまな疾病がもたらす身体内部の変化を理解する。 3. 診断に結びつく各種検査の内容を理解する。 4. 様々な機能障害を治療する方法について理解する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 疾病の成り立ち	1) 生体の反応と疾病の機序 2) 生体の回復力 3) 個体差と個人の反応	講義
2	2. 異常状態の特徴	1) 細胞や組織に生じる変化 2) 異常状態に影響する個体の条件	
3	3. 診断と検査	1) 臨床検査とは	
4		2) 各種検査 ① 一般検査 ② 血液検査 ③ 生化学検査 ④ 内分泌検査 ⑤ 感染症検査 ⑥ 免疫的検査 ⑦ 腫瘍マーカー ⑧ 生理学的検査 ⑨ 画像診断 ⑩ 病理検査	
5			
6			
7	4. 治療法	1) 薬物療法 2) 食事療法 3) 運動療法	
8			
9		4) リハビリテーション療法	
10		5) 放射線療法	
11		6) 内視鏡的治療 7) 手術療法 8) 人工臓器	
12			
13	5. 疼痛緩和	緩和ケア	
14			
15	終講試験	筆記試験	試験
履修上の留意点	事前にテキストを読み、能動的に学習に臨む。 1. テキストは必ず持参すること。 2. 配布資料はすべて持参すること。 3. 学習形態はその都度指示。		
1) テキスト 2) 参考書	1) 新体系 看護学全書 別巻 治療法概説 メヂカルフレンド社 1) 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進① 病理学 医学書院 2) 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学 医学書院		
評価方法	1. 筆記試験		

専門基礎分野	科目名：疾病と治療 I (運動機能障害と治療)	講師：医師	1単位 15 時間 (1 年次後期)
学習目標	1. 運動機能の障害とその治療について理解する。		
回数	主 題	学習内容	授業形態
1	1. 活動や行動を妨げる障害①	1) 姿勢・運動にかかわる骨・関節・筋肉の疾病とその治療 骨折、脱臼、捻挫、打撲、筋断裂、神経損傷 先天異常、変形性関節症、関節リウマチ 椎間板ヘルニア 腫瘍：良性骨腫瘍、悪性骨腫瘍 骨粗鬆症、側弯症、骨端症、腰部脊柱管狭窄症 頸椎症 主な症状・検査・治療法 【症状】 疼痛・奇形・変形・関節拘縮・強直・運動麻痺・知覚障害 【検査】 関節可動域・骨密度測定・画像検査 【治療】 ギプス包帯法・牽引・手術・義肢・装具	講義
2			講義
3			講義
4			講義 演習
5	1. 活動や行動を妨げる障害②	2) 運動機能障害による残存機能リハビリテーション 進行性筋ジストロフィー ニューロパチー 筋委縮性側索硬化症(ALS) 主な症状・検査・治療法 【症状】 関節拘縮・運動麻痺・知覚障害・歩行障害・筋委縮 【検査】 筋生検・筋電図検査	講義
6			講義
7	1. 活動や行動を妨げる障害③	3) 活動や行動が制限されることにより発生する疾病と治療 ロコモティブシンドロームと運動器不安定症 フレイル サルコペニア 廃用症候群	講義
8	終講試験	筆記試験	
履修上の留意点	事前にテキストを読み、能動的に学習に臨むこと。 1. 配布資料はすべて持参 2. 学習形態はその都度指示		
1)テキスト 2)参考書	1)系統看護学講座 専門分野 成人看護学[10] 運動器 医学書院 2)系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進[2] 病態生理学		
評価方法	1. 筆記試験		

専門基礎分野	科目名:疾病と治療Ⅱ (呼吸・循環・造血機能障害と治療)	講師:医師 医師 医師	1単位30時間 (1年次後期)
学習目標	1. 生命の危機状態とその対処方法について理解する。 2. 呼吸機能の障害とその治療について理解する。 3. 循環機能の障害とその治療について理解する。 4. 造血機能の障害とその治療について理解する		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 生命の危機とその治療	1)ショック 2)播種性血管内凝固症候群(DIC)	講義
2		3)多臓器不全(MOF) 4)生命の危機をもたらす損傷 5)死の徴候	講義
3	2. 呼吸機能の障害とその治療	1)感染による気道・肺の炎症と治療 呼吸器感染症(インフルエンザ、肺炎、結核)	講義
4		2)気管支喘息と治療 3)肺の腫瘍と治療 間質性肺炎(突発性間質性肺炎、サルコイドーシス) 気道疾患と治療(気管支喘息、気管支拡張症、慢性閉塞性肺疾患) 肺血栓塞栓症	講義
5		4)急性および慢性呼吸不全と治療 呼吸不全(急性呼吸不全、慢性呼吸不全、肺性心)	講義
6		5)呼吸機能の障害による循環機能への影響とその治療 主な症状・検査・治療法 【症状】 喀痰・血痰・胸痛・呼吸困難 【検査】 胸部 X-P・喀痰培養・胸水検査・気管支鏡・呼吸機能検査 【治療】 吸入・酸素療法・人工呼吸器・気道確保・胸腔ドレナージ 開胸術・肺切除術・胸腔鏡手術	講義
7			講義
8	3. 循環機能の障害とその治療	1)出生前の異常による心機能の障害と治療 2)後天的に心機能の障害を引き起こす疾病と治療 3)心筋の酸素欠乏による心機能障害と治療 4)心機能の低下をきたした状態と治療 5)心臓のリズムの障害と治療 6)血液の供給を障害する血管の疾病と治療 7)血圧の異常と治療 8)循環機能の変化を伴う体温の上昇と治療 主な症状・検査・治療法 【症状】 胸痛・動悸・不整脈・浮腫・チアノーゼ・失神 血圧上昇低下・ショック 【検査】 胸部 X-P・心エコー・心臓カテーテル・心電図・心血管造影 動脈血ガス分析・シンチグラフィ・CT・MRI 【治療】 PCI・ペースメーカー・外科的治療	講義
9			講義
10			講義
11			講義
12	4. 造血にかかわる諸機能の障害と治療	1)貧血と治療 鉄欠乏性貧血・再生不良性貧血 2)出血傾向 DIC・紫斑病・血友病 3)白血球減少症 白血病・悪性リンパ腫 4)造血器の腫瘍 多発性骨髄腫・アミロイドーシス 主な症状・検査・治療 【症状】貧血・リンパ節腫脹・脾腫・発熱・出血傾向 【検査】血液検査・骨髄穿刺 【治療】化学療法・輸血療法・造血幹細胞移植	講義
13			講義
14			講義
15	終講試験	筆記試験	試験
履修上の留意点	1. 配布資料はすべて持参 2. 学習形態はその都度指示		
1)テキスト	1)系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[2]呼吸器 医学書院		
2)参考書	1)系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[3]循環器 医学書院 1)系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[4]血液・造血器 医学書院 2)系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進[2] 病態生理学		
評価方法	筆記試験		

専門基礎分野	科目名:疾病と治療Ⅲ (吸収・代謝・排泄機能障害と治療)	講師: 医師 医師 医師 医師	1 単位 30 時間 (1 年次後期)
学習目標	1. 栄養摂取(食)の障害と治療について理解する。 2. 肝機能・糖代謝、脂質・尿酸代謝の障害と治療について理解する。 3. 排泄機能の障害と治療について理解する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 栄養摂取(食)の障害と治療	1) 摂取エネルギーの過不足 2) 必須栄養素の不足 3) 咀嚼・嚥下機能の障害 主な症状 【症状】齲歯 ・口腔内腫瘍 ・口腔粘膜疾患	講義
2	2. 消化管の機能障害と治療	1) 消化管の炎症と治療 胃炎、胃十二指腸潰瘍、クローン病、虫垂炎、腹膜炎 2) 消化管の腫瘍: 胃がん、腸管ポリープ、ポリポーシス、結腸癌、直腸がん 3) 食道・胃静脈瘤・イレウス・急性腹症、腹部外傷 4) 排便の障害と治療 痔核、痔瘻、裂肛、直腸脱 主な症状・検査・治療 【症状】嚥下困難 ・おくび ・嘔吐 ・吐血、下血 ・下痢 ・腹痛 腹部膨満 ・腹水 ・黄疸 ・便秘 【検査】腹部 X-P ・肝生検 ・腫瘍マーカー ・内視鏡検査 DIC ・PTC ・ERCP ・血管造影 【治療】静脈栄養 ・経管栄養 ・吻合術 ・経皮内視鏡的胃ろう造設術	講義
3			講義
4	3. 肝臓・胆嚢・膵臓の機能障害と治療	1) 肝臓・胆嚢・膵臓の炎症と治療 ウイルス性肝炎、劇症肝炎、慢性肝炎、肝硬変、アルコール性肝障害 胆嚢炎、胆管炎、膵炎 2) 肝臓・胆嚢・膵臓の腫瘍と治療: 肝臓癌、胆管癌、胆嚢癌、膵癌 3) 胆汁代謝・排泄の障害と治療 4) 糖代謝の障害と治療 主な症状・検査・治療 【症状】嘔吐 ・吐血、下血 ・下痢 ・腹痛 ・腹部膨満 ・腹水 ・黄疸 肝性脳症 ・便秘 ・高血糖症状 【検査】腹部 X-P ・肝生検 ・腫瘍マーカー ・内視鏡検査 ・DIC PTC ・ERCP ・血管造影 【治療】食事療法 ・薬物療法 ・手術療法	講義
5			講義
6			
7			
8	4. 排泄機能の障害と治療	1) 腎の炎症と治療: 腎盂腎炎、腎炎、腎不全、糸球体腎炎、糖尿病性腎症、ネフローゼ症候群、など 2) 腎の腫瘍と治療 腎癌、ウィルムス腫瘍 3) 腎の通過障害と治療: 腎結石 主な症状・検査・治療 【症状】排泄異常 ・尿量異常 ・浮腫 ・高血圧 ・疝痛 ・水と電解質の異常・血液の異常 ・尿毒症 ・脱水 【検査】尿検査・腎生検 【治療】血液透析・腎移植 ・腹膜透析 (IPD・CAPD)	講義
9			
10			①腎機能障害・治療
11			
12	②泌尿器の障害と治療	1) 尿路の炎症と治療: 膀胱炎、尿道炎、尿路・性器の感染症など 2) 尿路の腫瘍と治療 膀胱癌、前立腺癌など 3) 腎・尿路の通過障害と治療 前立腺肥大症 (BPH)、尿路結石、膀胱結石、など 主な症状・検査・治療 【症状】排泄異常 ・尿量異常 ・浮腫 ・高血圧 ・疝痛 ・水と電解質の異常・血液の異常 ・尿毒症 ・脱水 【検査】尿検査 ・膀胱鏡検査 ・生検【治療】手術療法、放射線療法、など	講義
13			
14			
15	終講試験	筆記試験	試験
履修上の留意点	1. 配布資料はすべて持参 3. 学習形態はその都度指示		
1) テキスト 2) 参考書	1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔5 消化器・6 内分泌、代謝・8 腎、泌尿器〕医学書院 2) 系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進〔2〕 病態生理学		
評価方法	1. 筆記試験		

専門基礎分野	科目名：疾病と治療Ⅳ (中枢神経・感覚機能障害と治療)	講師：医師 医師 医師 医師 医師 医師	1 単位 30 時間 (1 年次後期)
学習目標	1. 中枢神経機能の障害とその治療について理解する。 2. 感覚機能の障害とその治療について理解する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 脳機能の障害と治療	1) 脳血管障害と治療 くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞	講義
2		2) 頭蓋内圧亢進を伴う疾病と治療 脳腫瘍、水頭症、 主な症状・検査・治療 【症状】頭痛・意識障害・高次脳機能障害・失語症 失行・失認・認知症・運動機能障害・運動麻痺・失調 不随運動・けいれん・頭蓋内圧亢進・知覚異常 【検査】脳波・脳血管造影・髄液検査・CT・MRI・MRA・PET 【治療】開頭手術・V-P シヤント術・穿頭術・気管切開・人工呼吸器	
3		3) 脳神経変性・脱随性の疾病と治療 多発性硬化症、パーキンソン病	
4		4) 認知・コミュニケーション機能の障害と治療 アルツハイマー病、脳血管性認知症 主な症状・検査・治療 【症状】頭痛・意識障害・高次脳機能障害・失語症・失行・失認・認知症・運動機能障害・運動麻痺・失調・不随運動・けいれんなど 【検査】脳波・脳血管造影・髄液検査・CT・MRI・MRA・PET 【治療】開頭手術・V-P シヤント術・穿頭術・気管切開・人工呼吸器	
5			
6		5) 微生物の中枢神経への感染 脳炎、髄膜炎、クロイツフェルトーヤコブ病	
7		6) 頭部の外傷と治療 主な症状・検査・治療 【症状】頭痛・意識障害・高次脳機能障害・失語症 失行・失認・認知症・運動機能障害・運動麻痺・失調 不随運動・けいれん・頭蓋内圧亢進・知覚異常 【検査】脳波・脳血管造影・髄液検査・CT・MRI・MRA・PET 【治療】開頭手術・V-P シヤント術・穿頭術・気管切開・人工呼吸器	
8			
9		7) 二次的に意識障害・神経障害を起こす疾病と治療 てんかん 中毒 など	
10			
11	2. 視覚機能の障害と治療	1) 視覚機能の障害と治療 麦粒腫、結膜炎、角膜炎、糖尿病網膜症、白内障 緑内障、硝子体出血、網膜剥離、黄斑疾患、近視、遠視、乱視	講義
12	3. 聴覚機能の障害と治療	2) 聴覚機能の障害と治療 外耳炎、中耳炎、めまい疾患、難聴など 鼻中隔彎曲症、鼻出血、アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎	講義
13	4. 感覚機能の障害と治療	3) 嗅覚・味覚機能障害・知覚の障害と治療	
14			
15	終講試験	筆記試験 (45分)	試験
履修上の留意点	事前にテキストを読み、能動的に学習に臨む。 1) 配布資料は全て持参 2) 学習形態はその都度指示		
1) テキスト 2) 参考書	1) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 7・13・14 1) 系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 病態生理学		
評価方法	1. 筆記試験		

専門基礎分野	科目名: 疾病と治療V (内部環境・生体防御機能障害と治療)	講師: 医師 医師	1単位 30 時間 (1 年次後期)	
学習目標	1. 内分泌機能の障害と治療について理解する。 2. 体液調節機能の障害と治療について理解する。 3. 自律神経の失調とその治療について理解する。 4. 生体防御機能障害と治療について理解する。			
回数	主題	主な学習内容	講義形態	
1	1. 内分泌機能の障害と治療 ①内分泌	1) 内分泌機能の低下 2) 内分泌機能の亢進 3) 内分泌器官の炎症 4) 内分泌器官の腫瘍 視床下部、下垂体前葉系疾患(下垂体機能低下症など) 甲状腺疾患(橋本病、バセドウ病、甲状腺機能低下など) 副甲状腺疾患(副甲状腺機能亢進症、機能低下症など) 副腎疾患(アルドステロン症、クッシング病、アジソン病など) 代謝障害による疾患と治療(糖尿病など) 脂質・尿酸代謝の障害と治療(痛風、メタボ、高脂血症など) 主な症状・検査・治療 【症状】やせ・肥満・浮腫・神経、筋症状・甲状腺腫大 【検査】ホルモン負荷試験・糖負荷試験	講義	
2				
3				
4				
5				
6				②代謝
7				
8	2. 体液の調節障害と治療	1) 水と電解質の異常 水・電解質の調整(浸透圧)・酸塩基平衡の障害 (アルカローシス、アシドーシス) 2) 酸塩基平衡の異常 主な症状・検査・治療法 【症状】脱水・高血圧		
9	3. 自律神経の障害と治療	1) 自律神経の障害と治療 自律神経失調症、知覚障害 【症状】めまい・呼吸困難感・不眠・動悸・ほてり・冷感 【治療】薬物療法 生活指導		
10				
11	4. 皮膚とその付属器及び粘膜の障害と治療	1) 皮膚とその付属器の障害 皮膚の構造と機能、発疹学、表在性皮膚疾患 皮膚腫瘍、感染症、その他の皮膚疾患 2) 皮膚の障害と治療 【症状】発疹、掻痒 【検査】ダーモスコープ、真菌検査、光線過敏検査 【治療】外用療法、光線療法、凍結療法、手術療法		
12	5. 免疫機能の障害と治療	1) 免疫機能の障害 膠原病、アレルギー 2) 免疫機能の治療		
13				
14				
15	終講試験	筆記試験		試験
履修上の留意点	1. テキストは必ず事前に読み、持参すること。 「内分泌・代謝」、「腎・泌尿器」、8-14 回「アレルギー・膠原病・感染症」、「皮膚」 2. 配付資料はすべて持参すること 3. 学習形態はその都度指示する			
1) テキスト 2) 参考書	1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[6] 内分泌・代謝 医学書院 1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[8] 腎・泌尿器 医学書院 1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[11] アレルギー・膠原病・感染症 医学書院 1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[12] 皮膚 医学書院 2) 系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進[2] 病態生理学			
評価方法	1. 筆記試験			

専門基礎分野	科目名: 疾病と治療VI (生殖機能の障害と治療)	講師: 医師 医師 医師	1単位 15時間 (1年次後期)
学習目標	1. 生殖機能の障害と治療について理解する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 生殖機能をつかさどる器官の障害と治療 ①女性生殖器	1) 思春期における性的成熟の障害と治療 2) 加齢による生殖機能や性ホルモンの変化と治療 3) 女性生殖器の疾病と治療 主な症状・検査・治療 【症状】不正性器出血・帯下異常・外陰部搔痒感・排尿障害 自律神経症状・不定愁訴 【検査】内診・膣鏡診・コルポスコピー・子宮卵管造影 内視鏡・妊娠検査・ダグラス窩穿刺・レントゲン・超音波・ホルモン検査 【治療】ホルモン治療・手術	講義
2		講義	
3			
4			
5	②女性生殖器 (乳房)	4) 乳腺の疾病と治療	講義
6		講義	
7	③男性生殖器 (男性生殖器)	5) 男性生殖器の疾病と治療 男性不妊症・勃起障害 陰嚢水腫・精索捻転症、持続勃起症、血精液症 主な症状・検査・治療 【症状】外陰部搔痒感・排尿障害 【検査】精液検査 【治療】ホルモン治療・手術	講義
		講義	
8	終講試験	筆記試験	試験
履修上の留意点		1. テキストは常に持参する 2. 配布資料は全て持参 3. 学習形態はその都度指示	
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔9〕 女性生殖器 医学書院 1) 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院 2) 系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進〔2〕 病態生理学	
評価方法		1. 筆記試験	

専門基礎分野	科目名:疾病と治療Ⅶ (小児に特徴的な機能障害と治療)	講師: 医師	1単位 15 時間 (1 年次後期)
学習目標	1. 小児看護でよく遭遇する 機能障害とその治療について理解する。		
回数	主題	主な学習内容	講義形態
1	1. 小児医療と機能障害 2. 遺伝子・染色体異常と形態異常	1) 発達・発育過程で生じる機能障害 2) 児童虐待  1) 先天異常 遺伝子・染色体の異常	講義
2	3. 新生児に多い機能障害と治療 4. 子どもに多い消化機能障害と治療	1) 新生児の特徴的な機能障害と治療 新生児仮死・低出生体重児の疾患・高ビリルビン血症 1) 特徴的な消化機能障害と治療 口唇口蓋裂・先天性横隔膜ヘルニア・先天性食道閉鎖・鎖肛・胆道閉鎖症・ヒルシュスプルング病・胃食道逆流現象・腸重積症・急性乳幼児下痢症・急性胃腸炎	講義
3	5. 子どもに多い呼吸機能障害と治療 6. 子どもに多い循環機能障害と治療	1) 特徴的な呼吸機能障害と治療 急性咽頭炎・急性気管支炎・細気管支炎・肺炎 1) 特徴的な循環機能障害と治療 心室中隔欠損症・心房中核欠損症・ファロー四徴症 川崎病・リウマチ性弁膜症 鉄欠乏性貧血・血友病・紫斑病	講義
4	7. 子どもに多い運動機能障害と治療 8. アレルギー症状を呈する健康障害と治療	1) 特徴的な運動機能障害と治療 先天性股関節脱臼・骨折 1) アレルギー症状を呈する健康障害と治療 気管支喘息・アトピー性皮膚炎・食物アレルギー 若年性関節リウマチ	講義
5	9. 子どもに多い神経・筋の機能障害と治療 10. 急性な症状を呈する健康障害	1) 特徴的な神経・筋の機能障害と治療 てんかん・熱性けいれん・脳性麻痺・進行性筋ジストロフィー 1) 急性な症状を呈する健康障害 熱性けいれん・熱傷・誤飲誤嚥・溺水・心肺蘇生法	講義
6	11. 外科的治療の対象となる健康障害 12. 子どもに多い皮膚・感覚機能障害と治療	1) 外科的治療の対象となる健康障害  1) 特徴的な皮膚・感覚機能障害と治療 伝染性皮膚疾患・目の感染症・外耳中耳・咽頭の疾患	講義
7	13. 子どもに多い 感染症	1) 特徴的な感染症 麻疹・風疹・水痘・百日咳・流行性耳下腺炎 インフルエンザ・ワクチン接種を含む	講義
8	終講試験	筆記試験 (45 分)	試験
履修上の留意点	1. 常に持参のテキストは「小児臨床看護各論」 2. 配付資料はすべて持参 3. 形態はその都度指示		
1) テキスト 2) 参考書	1) 看護学講座専門分野Ⅱ 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論 2) 統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進〔2〕病態生理学		
評価方法	1. 筆記試験		

専門基礎分野	科目名: 疾病と治療Ⅷ (精神障害と治療)	講師: 医師	1 単位 15 時間 (2 年次前期)
学習目標	1. 精神の障害とその診断および検査・治療を理解する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 精神障害者の抱える症状	1) 精神症状 至高の障害・感情の障害・意欲の障害 知覚の障害・意識の障害・記憶の障害 局所症状(失語・失行・失認)	講義
2		2) 精神障害の診断と検査の種類 ・原因と分類 DSM 分類 ICD 分類 ・臨床検査(脳波検査・脳の画像検査・心理検査 脳脊髄液検査)	講義
3	2. 主な精神障害の治療	1) 薬物療法 抗精神病薬・抗うつ薬・気分安定薬・抗不安薬 睡眠薬・抗てんかん薬・副作用に関する内容を含む	講義
4		2) 電気ショック療法 3) 社会復帰療法 4) 精神療法 行動療法およびリラクゼーション (行動療法・SST・自律訓練法など)	講義
5	3. 主な疾患の診療	1) 脳器質性疾患	講義
6		2) 症状精神病 3) アルコール依存 4) てんかん	講義
7		5) 統合失調症 6) 躁鬱病 7) 神経症と心因精神病 8) 人格障害 9) 児童・思春期に起こりやすい精神障害	講義
8	終講試験	筆記試験 45 分	試験
履修上の留意点	1. 配布資料はすべて持参 2. 学習形態はその都度指示		
1) テキスト	1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学①医学書院		
評価方法	1. 筆記試験		

専門基礎分野	科目名:栄養学	講師: 管理栄養士	1単位 30時間 (1年次前期)
学習目標	栄養素の消化・吸収・代謝および生理作用について学び、人間にとっての栄養の意義および健康障害時の食事療法の基本を理解する。		
回数	主題	主な学習内容	講義形態
1	人間栄養学と看護	1. 人間栄養学 2. 保健・医療における栄養学 3. 看護と栄養	講義
2	栄養素の種類とはたらき	1. 糖質 2. 脂質 3. タンパク質 4. ビタミン 5. ミネラル 6. 食物繊維 7. 水	講義
3	食物の消化と栄養素の吸収・代謝	1. 食物の消化 1) 消化器系のしくみとはたらき 2) 三大栄養素の消化 2. 栄養素の吸収 3. 栄養素の代謝 4. 吸収・代謝物の排泄	講義
4			
5	エネルギー代謝・食事と食品	1. 食品のエネルギー 2. エネルギー代謝の過程 3. エネルギー消費	講義
6	栄養ケア・マネジメント	1. チームアプローチと栄養ケア・マネジメント 2. 栄養スクリーニング 3. 栄養アセスメント 4. 栄養ケア計画 5. 栄養ケア・マネジメントの実施と評価	講義
7	栄養状態の評価判定	1. 食事と栄養のアセスメント 2. 栄養アセスメントの目的 3. 栄養状態の評価・判定法	講義
8	ライフステージと栄養	1. 各期の特徴と栄養摂取及び栄養ケア・マネジメントの要点 1) 乳児期 2) 幼児期 3) 学童期 4) 思春期・青年期 5) 成人期 6) 妊娠期 7) 更年期 8) 高齢期	講義
9			
10			
11	臨床栄養	1. チームで取り組む栄養管理 2. 栄養補給法 3. 病院食 4. 経腸栄養法 5. 経静脈栄養剤 6. 疾患・症状別食事療法	講義
12			
13	健康づくりと食生活	1. 食生活の変遷と栄養の問題点 2. 生活習慣病予防 3. 食生活の改善への施策 4. 食の安全性と表示	講義
14	食事摂取基準	1. 日本人の食事摂取基準 2. 策定基準 3. 主な栄養素の食事摂取基準	講義
15	終講試験	筆記試験	試験
履修上の留意点	1. テキスト「栄養学」の「ゼミナール」を使用する 2. DVD教材を使用する際はスピーカーなどの準備をすること。 3. 授業中に確認テストを行う		
1)テキスト 2)参考書	1)系統看護学講座 人体の構造と機能[3]栄養学 医学書院		
評価方法	1. 筆記試験 2. レポート		

専門基礎分野	科目名:微生物学	講師:検査技師	1単位 30時間 (1年次前期)
学習目標	1. 健康をおびやかす微生物の基礎知識を学ぶ。 2. 感染症を起こす病原微生物について理解する。 3. 医薬品による健康障害を理解する。 4. 感染症とその変貌を理解する。		
回数	主題	主な学習内容	講義形態
1	1. 健康状態をおびやかす微生物	1) 微生物の分布と人体 2) 微生物の種類と特徴 3) 病原微生物の感染経路と潜伏期間 4) 病原微生物に対する化学療法と薬剤耐性 5) 病原微生物に対する予防処置と感染防御	講義
2			講義
3			講義
4			講義
5			講義
6	2. 人体防御機構への看護の視点	1) 人体の感染防御機構と免疫反応 2) アレルギー疾患 3) 自己免疫疾患および類縁疾患 4) 臓器移植	講義
7			講義
8			講義
9			講義
10	3. 感染症	1) インフルエンザ 2) 多剤耐性ブドウ球菌感染症 3) 腸管出血性大腸炎 4) 結核	講義
11			講義
12			講義
13			講義
14			講義
15	終講試験	筆記試験	試験
履修上の留意点	1.常に持参のテキストは、「微生物学」 他は必要時指示 2.配布資料は全て持参 3.学習形態はその都度指示 基礎知識を感染看護へ発展させる。		
1)テキスト 2)参考書	1)系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進(4)微生物学 医学書院		
評価方法	1.筆記試験		

専門基礎分野	科目名:薬理学	講師:薬剤師	1単位 30 時間 (1 年次前後期)
学習目標	1. 薬理学の基礎知識を理解する。 2. 健康障害に対する薬物療法の作用機序、人体への影響について理解する。		
回数	主題	主な学習内容	講義形態
1	薬理学の基礎	1. 薬理学の概念とは 2. 薬理作用	講義
2		3. 薬物に影響を及ぼす要因 4. 薬の有害作用	講義
3		5. 薬物の取扱と保管方法	講義
4	主な治療薬・麻酔薬と薬理作用	6. 主な治療薬・麻酔薬と薬理作用 1) 感染症薬 2) 抗がん薬 3) 免疫治療薬 4) 抗アレルギー薬 5) 末梢での神経活動に作用する薬物 6) 中枢神経系	講義
5		7) 心臓・血管系に作用する薬物 8) 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 9) 物質代謝に作用する薬物 10) 救急の際に使用される薬物 11) 皮膚科薬	講義
6			講義
7			講義
8	医薬品等の安全な使用	7. 医薬品等の安全な使用 1) 医薬品の安全管理対策 2) 禁忌 3) 混合時の注意 4) 抗がん剤の取り扱い	講義
9			講義
10			講義
11	薬物中毒・医薬品による健康被害 服薬指導の実際	8. 与薬方法と生体の反応 9. 薬物による副作用と中毒 10. 医薬品による健康被害	講義
12			講義
13			講義
14	服薬指導の実際	11. 服薬指導の実際	講義
15	終講試験	筆記試験	試験
履修上の留意点	事前にテキストを読み、能動的に学習に臨む。 1. 配布資料は全て持参		
1) テキスト 2) 参考書	1) 系統看護学講座専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進(3) 薬理学 医学書院 2) 治療薬マニュアル 2023		
評価方法	1. 筆記試験 2. レポート		

専門基礎分野	科目名:保健医療論	講師:医師	1単位 15時間 (1年次後期)
学習目標	1. 医療の変遷を学び、医の倫理に基づいた医療の役割を理解する。		
回数	主題	主な学習内容	講義形態
1	1. 医学・医療のあゆみ	1) 人類の誕生と医療の原始的形態 2) 古代・中世の医学	講義
2	2. 健康と疾病	1) 生活の場と健康 2) 労働と健康	講義
3	3. 医と倫理	1) 生命倫理とは 2) 患者の権利 3) 脳死と臓器移植 4) 生殖医療 5) 遺伝学の発展と倫理的問題 6) 告知と終末期医療 7) 安楽死と尊厳死 8) クローン再生	
4	4. 保健医療のあり方	1) 近代医学の発達 2) 21世紀の医療サービス 3) 患者からみた保健医療の質	
5	5. 我が国の医療供給体制	1) 方向性と課題	講義
6	6. 政策医療	1) 国立病院機構の歴史 2) 国立病院機構の機能と役割	講義
7	7. 保健医療チームの連携 8. 災害時の医療体制	1) 保健医療チームの連携 2) 災害時の医療体制	
8	終講試験	筆記試験(45分)	
履修上の留意点	事前にテキストを読み、能動的に学習に臨む。 1. 配布資料はすべて持参 2. 学習形態はその都度指示		
1) テキスト 2) 参考書	1) 系統看護学講座 別巻「総合医療論」 医学書院		
評価方法	1. 筆記試験		

専門基礎分野	科目名:公衆衛生	講師: 医師 医師 保健師 保健師	2単位 30時間 (2年次前期)
学習目標	1. 国民の健康に関する状況と生活環境を学び、人々が健康を享受するために望ましい制度や組織活動を理解するとともに医療専門職の役割を理解する。		
回数	主題	主な学習内容	講義形態
1	1. 健康と公衆衛生	1) 公衆衛生のあゆみ	講義
2	2. 疫学と健康に関する指標	1) 保健統計の基本的な考え方 2) 人口の動向 3) 人口の動向把握と必要な指標	講義
3	3. 環境と公衆衛生	1) 人間と生活環境 2) 健康問題と環境	講義
4	4. 公衆衛生の対象と活動	1) 保健所・保健センターにおける活動 3) 地域保健	講義
5		2) 母子保健	講義
6		4) 学童期の健康管理	講義
7		5) 生活習慣病予防(成人保健、高齢者保健)	講義
8		6) 感染症とその予防	講義
9		7) 職場の健康保健	講義
10		5. 疾病予防と疫学調査法	1) 疫学調査総論
11	2) 疫学調査各論(感染症、生活習慣病、他)		講義
12	6. 難病対策	1) 障害者保健・難病保健 2) 精神保健	講義
13	7. 保健行政	1) 公衆衛生のしくみ 2) 歯科保健	講義
14		3) 国際保健 4) 健康危機管理・災害保健	講義
15	終講試験	筆記試験	試験
履修上の留意点	自主的に調べ学習を行い、保健政策の現状を学ぶ ・配布資料はすべて持参 ・学習形態はその都度指示		
1)テキスト 2)参考書	1)系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 健康支援と社会保障制度2		
評価方法	1. 筆記試験		

専門基礎分野	科目名:社会福祉	講師: 介護福祉士	2 単位 30 時間 (3 年次前期)
学習目標	1. 社会福祉と医療・社会保障の関連について理解し対象に必要な社会資源として看護に活用する必要性を理解する。		
回数	主題	主な学習内容	講義形態
1	1. 社会福祉・社会保障の定義と理念	1) 日本の保健医療福祉活動の基本方向	講義
2	2. 社会福祉諸法の関連法と施策	1) 社会保険の変遷	講義
3		2) 医療保険制度	講義
4		3) 介護保健制度	講義
5		4) 年金制度	講義
6		5) その他の社会保険制度	講義
7	3. 社会福祉行政	1) 保健福祉計画 2) 社会福祉の民間活動	講義
8		3) 老人保健福祉行政	講義
9		4) 職員、機関、施設	講義
10	4. 社会保険および公的給付の沿革と概要	1) 社会保険および公的給付の沿革と概要	講義
11	5. 社会福祉・社会保障の現状と将来	1) 福祉と看護の関係	講義
12		2) 地域福祉・公的介助論	講義
13		3) 母子・児童福祉、障害者福祉	講義
14	6. 保健福祉医療の連携とマネージメント	1) 保健福祉医療の連携とマネージメント	講義
15	終講試験	筆記試験／まとめ	
履修上の留意点	1.テキストは常に持参「社会福祉」 2.配付資料はすべて持参 3.学習形態はその都度指示 定義と理念の中でノーマライゼーション、人権擁護なども含めて学習する。		
1)テキスト 2)参考書	1)健康支援と社会保障制度③社会福祉 メヂカルフレンド社		
評価方法	1. 筆記試験		

専門基礎分野	科目名:関係法規	講師: 講師 療育指導士 薬剤師 看護師	1単位 15時間 (3年次前期)
学習目標	1. 医療法の内容を理解し、社会生活と法とのつながりを理解する。 また、医療に関する法律を学び、看護師に必要な法規を理解する。		
回数	主題	主な学習内容	講義形態
1	1. 法規の概念	法規の概念 1)法とは 2)衛生法 3)厚生労働行政のしくみ	講義
2	2.医事法規	1)保健師助産師看護師法 2)看護師等の人材確保の促進に関する法律	講義
3		2)医師法 3)放射線技師等に関する法律	講義
4		4)医療法 (医療法、医療関係資格法、医療を支える法)	講義
5	3. その他の関連法規	労働法 1)労働基準法 2)労働安全衛生法 社会基盤整備など 3)その他の労働関係法規	講義
6			講義
7	社会保険法 福祉法	1)健康保険法 2)国民健康保険法 3)介護保険法 4)年金に関する法律 5)手当(児童手当、児童扶養手当法 他)	講義
8	終講試験	筆記試験	試験
履修上の留意点	1.常に持参のテキストは「看護関係法令」他は必要時指示 2.配布資料は全て持参 3.学習形態はその都度指示 4.これまでに学習した各概論や公衆衛生、薬理学などの内容を振り返りましょう		
1)テキスト 2)参考書	1)系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度④ 医学書院 2)看護者の基本的責務 2021年版		
評価方法	1. 筆記試験		